

堺のヒト・モノ・世界をつなぐ

堺IPC

SAKAI CITY INDUSTRIAL PROMOTION CENTER

www.sakai-ipc.jp

PRESS

●特集

異分野への果敢な挑戦が、 新たな成長へ

株式会社イクロス / 株式会社デジタルシステム / 株式会社ピカキユウ

●モノダン×モノジョ……………8

「1000分の1ミリの精密なものづくりに誇りを持って。」

株式会社トップツール 八角浩史さん

●さかいモノ語り……………11

「ピアス感覚の、足もとアクセサリ」

株式会社PIELLY



2015.4
VOL.

35



case

01

社名に込められたのは、
社会貢献をめざす思い

社名の頭文字の「i」は、国際的視野 (international)、知識・判断力 (intelligence)、考え・ひらめき (idea)、目的意識 (identity) といった6つの「i」を社会にクロスさせることで、社会に貢献できる企業であり続けたいという意味がこめられている。今年1月に、現在地に新社屋を竣工。分散していた工場と本社を集約したばかり。

情報がアイデア、そして事業へ。

株式会社イクロス 谷村忠義社長

知識やノウハウが十分でない異分野・異業界へ進出することは、新たな人材や資金の確保などに大きなエネルギーを要するのではないかと二の足を踏んでしまいがちです。しかし一方で、業界外からの客観的視点
が新しい発想を生み、既存概念にと
られないアプローチを実現するの
かもしれません。今号は、社会の二
ズの変化を敏感にキャッチし、時代
に乗った事業への転換を図ることで
成長中の3社をご紹介します。

新聞社勤務から一転、 介護事業での起業へ

現在、環境事業部、メディカル事業部、介護事業部、インテリア事業部の4事業を展開している㈱イクロス。「運転中にラジオCMを聞いても、海外で人と話しても、ビジネスのアイデアが浮かんでくる。それが楽しいですね」と語る谷村忠義社長は常に「これからの時代に必要とされるもの」を求めてアンテナを張り、得られた情報からアイデアを着想、事業化されているようです。例えば、最初に立ち上げたメディカル事業については、かつて地方新聞社に勤務していた時、関連会社で介護事業を立ち上げた経験や人脈、情報が活かされています。「長期療養の入院患者の身の回りの世話をする家政婦さんの人手不足を聞き、

寝間着など個人向け一日レンタルセットを商品化したのです」。

翌年の2001年には、実家が工務店だったことから興味を持っていたインテリア事業をスタート。さらに不動産会社から運営先の紹介を依頼された和歌山県白浜の保養施設は、谷村社長自身が、海が見える、温泉があるという好環境に惚れ込み、2003年に介護事業部として認知症対応型グループホーム「バル白浜」を開業させています。

「2000年に施行されたばかりの介護保険法で、福祉法人や医療法人でなくてもグループホームを運営できるようになりました」。

廃棄物を燃料資源とするバイオマスボイラを開発

次々と事業を拡大させてきた谷村社長ですが、「本当にやりたかったのはこれだ」と環境事業に参入したのは2006年。病院から大量に出る医療廃棄物がヒントでした。

「医療廃棄物の処理コストが高く、これらを敷地内で燃やして、その熱を給湯や暖房に利用できれば、光熱費も削減、さらに環境保全にも貢献できると考えました。最初は技術が先行していたヨーロッパから技術を導入することも考えましたが、市場性などが日本と異なり、自社開発を決断したのです」。

開発は思うように進まず、ようやく

燃焼炉内の空気の流れを利用した独自の燃焼原理を確立し製品化できたかと思えば、欠陥が発見されるなど、苦しい時期もありました。しかし試行錯誤の末、ついに24時間連続して稼働可能で、含水率の高い木質チップを燃料とする小型バイオマスボイラの開発に成功。今年1月には、近畿経済産業局から「関西ものづくり新撰2015」に認定されています。

バイオマスボイラの導入メリットは、木質系廃棄物やプラスチック系廃棄物(RPF)を燃料資源とするうえ、熱を給湯や乾燥に再利用できるため、燃料費を大幅に削減できること。森林資源の活用を模索する自治体をはじめ、小規模事業所などから高い関心を集めています。

バイオマスボイラの発電システムやESCO事業へ

同社の4つの事業は何の関係性もないために経営効率が悪いように思えます。実際、谷村社長も事業間の人材交流が難しく、新工場でメデイカル事業と環境事業を集約したものの勤務体制が全く異なるため、企業としての一体感を醸成しにくいことを課題として挙げていました。しかし「今後は、事業間コラボがテーマ。メデイカル事業部で信頼関係のある医療・介護施設に向け、バイオマスボイラを活用した床暖房への改装

や、あわせてカーテンのリースもご提案できるのでは」と語っています。

現在は、バイオマスボイラとロータリー発電のパッケージ化を開発中で、完成すれば世界初。無電地帯に光を届けることができるようになります。将来的にはバイオマスボイラでESCO事業(※)を手がけたいとも語る谷村社長。初期投資を不要にすれば、一気に製品の普及が狙えることはもちろん、エネルギーを有効活用するシステムそのものを売るビジネスとなります。次から次へと新たなアイデアが湧いてくる同社の今後がますます期待されます。

株式会社イクロス



独自の燃焼技術が約1,200℃の高温燃焼を実現し、含水率50%の木質チップ燃料も効率よく燃焼させる小型バイオマス蒸気ボイラ。高温燃焼のためダイオキシン発生心配も不要。



代表者名/代表取締役 谷村忠義
本社/堺市西区草部491-1
TEL/072-260-6333 (代)
設立/2000年
資本金/1,700万円
従業員数/100名
事業内容/バイオマスボイラなど環境機器開発・製造・販売・メンテナンス、病院および介護施設向けリネン品リース・日用品リース、認知症対応型グループホーム「バル白浜」などの運営、インテリアハウス「イクロス」のショップ運営
<http://www.icross.co.jp/>

何を見ても、誰と会っても新しいビジネスのアイデアに



テレビのニュースで見たある展示会会場にふと目が止まったという谷村社長。そこに映し出されていたコンテナを見て、あるひらめきを得たという。名刺を交換した人との縁も簡単には切らない。「年賀状一枚でもいいことですから」。新聞社勤めで培ったものか、そうしたさまざまな出会いの中から、新しいビジネスのヒントを嗅ぎ分けられるようだ。

※ ESCO (エスコ) 事業・・・Energy Service Company事業の略。
省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、顧客の省エネルギー効果の一部を報酬として受取るビジネス形態。



case
02

IT業界ならではの
新しい働き方も実践

創業当時、アルバイト生だったスタッフは、山梨で牧場を経営したり、神戸でワインバーを営みながら、今も同社の開発に携わり、IT業界ならではの新しい働き方を実践している。2009年には、「CADMAC」に精通した人材を集約し、ユーザーのサポートやソフトウェアの開発支援を行う㈱CADMAC SYSTEMを設立。

メッキ業からITの世界へ

株式会社デジタルシステム 大曲伸一社長

会社員時代に培った知識やスキルが新事業への布石に

ITという言葉すらなかった1985年に、板金加工に特化したCAD/CAMソフトウェアを開発する㈱デジタルシステムを設立した大曲伸一社長。その4年後に、自身が継ぐはずだった家業のメッキ業を廃業しました。ものづくり企業から、ものづくりをサポートする企業への転換。その布石は期せずして、大学卒業後に入社した大手電機メーカー時代に打たれていたようです。

「会社員時代はメッキ部門から原子カプラントの監視システム、さらには電子機器組み立てで技能オリンピックに出場する社員のサポートなど多種多様な部門に関わったことから、多くの人脈と知識を得ることができました。また、創成期のマイコンに関心を持ち、自ら志願してマイコン技術者育成プロジェクトに参加したほか、板金工場のリニューアルプロジェクトにも関わり、そこで板金の知識を蓄積しました。これらが全て、今につながっているといえますね」と大曲社長は語っています。

家業の経営合理化のためのシステム開発が発端に

ところで、1959年に創業した先代のメッキ業の業績が決して悪かった

わけではありません。硬質クロームメッキを専業とし、新幹線の軸受け部のメッキは開発当時から参加したほど、高く評価されていたのです。しかし一方で、大曲社長は家業を手伝いながら、前時代的な経営管理に疑問を持っていました。例えば、口頭でやりとりしていた作業進捗の確認。そこで退職金で買ったマイコンを使い、ライトペンで簡単に操作できる独自の工程進捗管理システムを作ったほか、当時発売されたばかりの漢字ドットプリンターで納品伝票を発行するようにしたところ、それを見た取引先企業から生産管理や事務処理のシステム開発を依頼されるようになったということです。

「その後、若手技術者たちを対象にマイコンの勉強会を開き、その中に板金加工業の経営者がいたことから、板金用CAD/CAMに参入するメーカーが少なく、またソフトウェアにも課題があることがわかりました。当社のような弱小企業でも勝機はあると考えたのです」。

しばらくはメッキ業とソフトウェアの開発の二足のわらじを履いていた大曲社長ですが、身体を壊したのをきっかけに、メッキ業の廃業を決意しました。先代には、従業員たちの再就職先を確保することを条件に了承されたという事です。新幹線の軸受け部にし

ぼつて従業員と設備の引受け手を探したところ、大曲社長による合理化ですぐに収益力を高めていたこともあり、すぐに引受先も見つかりました。莫大な費用をかけて工場跡地の土壌を浄化したのち、デジタルシステムは本格的なスタートを切るようになったのです。

板金加工を知り尽くしたCAD/CAMの性能に高評価

1985年に発売を開始した板金用3D・CAD「CADMACシリーズ」。その特性は、画面上の理論的なデータでなく、実際の板金に即して板厚を持った平面の組み合わせで3次元を表現していることや、加工する板金の縦横比が一般に1対2であることから、設計画面も同じ1対2にしてシート全体が効率よく見渡せるように工夫するなど、板金加工を知り尽くした同社ならではのスペックを豊富に備えていることです。

今ではシェア約30%、2400社ほどの顧客数を誇っていますが、開業当時はコンピュータが非常に高価で、販売するマシンを使って開発し納品という自転車操業だったと振り返る大曲社長。「開発したシステムが売れなければ、すぐに資金不足に陥る不安が常にありました」。

しかし、大変だった人材の確保につ

いては、大曲社長の実弟である大曲啓介常務が大手鉄鋼メーカーを退職して加わったことと、当時は珍しかったソフトウェア開発に携われるというところで、国立大の優秀な現役生たちがほぼボランティアで手伝ってくれたといいます。

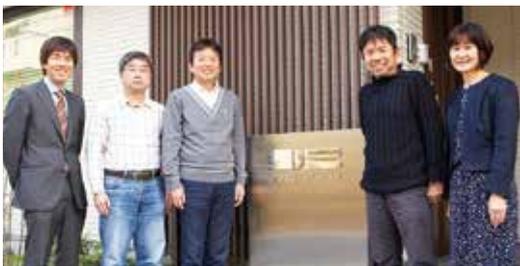
これからのデジタルシステムについて、大曲一聡さんは「創業から今年で丸30年。お得意先でも世代交代の時期を迎えています。同じ世代の間である私には、次代の若き経営者たちをサポートする新しい発想や販売方法、つまり「板金ソリューション」をご提案する役割があるのではと考えています」と語っていました。

異分野からの参入だったからこそ独自のソフトウェア開発に成功

ソフトウェア開発といえば、ITに関するテクニカルが先行しがちだが、大曲社長はソフトウェア、特にCAD/CAMの開発については新規参入だったために、既存の概念や手法に全くとらわれず、ただ板金加工のしやすさを追求したことが、今の成功につながったと考えている。



株式会社デジタルシステム



◀デジタルシステムの看板商品「CADMAC-NEX」。全て自社内開発なので、加工機メーカーを選ばず、ユーザーニーズにも迅速に対応できるのが強み。

代表者名/代表取締役 大曲 伸一
本社/堺市堺区南三国ヶ丘町 6-3-8-2
TEL/072-238-5402
設立/1985年創業
資本金/1,000万円
従業員数/11名
事業内容/コンピュータシステムの開発
<http://www.cadmac.co.jp/>



case 03

国内最強の明るさを 追求してメーカーへ

田宮社長が4人の仲間と、自動車用LEDライトの販売会社として創業。現在は、仕入れ部門を分社化しているほか、今後はさらに、他社の追随を許さない高品質のピカキュウブランドの確立をめざし、メーカーとしての機能も担っていく。こだわりのユーザーが多いなかで、丁寧な対応がピカキュウファンを増やし続けているようだ。

LEDライトの可能性に賭けて。

株式会社ピカキュウ 田宮ますみ社長

より明るく、より白く
オリジナルLEDライトが大好評

自動車専用のLEDライトを販売している(株)ピカキュウ。その強みは、ヘッドライトからルームライト、テールランプなど自動車一台丸ごとLEDライトに換えられる豊富な商品ラインナップと、カーマニアの心をくすぐる光量です。田宮ますみ社長は、「ユーザーの強いニーズである

「より白く、より明るく」を追求し、例えばフォグランプは純正品が1000lmのところ、4600lmの光量を実現しています」と語っています。何よりピカキュウブランドがユーザーたちから大きな信頼を得ているのは、その安定した品質。「業界で一番安全、安心な製品をめざす」として、自社内で耐電圧や光量、ソケットやワイヤーにいたるまでの全てのスペックを変更したオリジナルにこだわっているうえに、社内で徹底した検品体制をとっています。

展示会への出品は、模倣防止のため基本的に行っていないといいますが、SNSなどでカーマニアたちのレビューを参考にしたり、情報を交換したり、時にはチャットでやりとりを行うなど、ユーザーのニーズを反映させた製品づくりも人気の秘密なのでしょう。

転機は勤務先の倒産 WEBショップに自信をつけて

ユーザーの大半が車好きの男性だと思われるこの業界において、「私自身は特別に車に詳しいわけではない」と語る田宮社長。以前は呉服店で着物を販売していたといいます。

「その呉服店が倒産し、同僚が開業したWEBショップを手伝うようになりまして。やがて一つのモールでの販売を任せられ、そこで担当していたいたモールサイトのコンサルタントと、どうすれば売上を上げられるかを毎日のように一緒に考えているうちに、WEBショップの運営について自信がついたんですね。車専用のLEDライトが売れる商材と見込んで取扱いはじめたところ売れ行きも好調で、違う打ち出し方をすれば、もっと売れるんじゃないかと考え、自ら開業することにしたんです」。

32歳での開業。当初は資金の確保や、税金、労務といった経営の知識が少ないことで苦労したといいます。それを乗り越えられたのは、「開業当初から助けてくれる仲間がいましたし、経営については、勤めていた呉服店の常務に顧問という形で相談に乗ってもらっています」という田宮社長の「わからないことは誰かに教えてもらう、助けてもらう」素直な姿勢にあったようです。

業界初のメイドインジャパンを ピカキュウから

ところで、呉服から自動車用品へ関わる商材が大きく転換したことに ついて、田宮社長は「販売するものが変わっただけで、異業種へ参入したという感覚はないんです。モノを売ることの楽しさを追求したらWEBショップであり、LEDライトに行き着いたという感じですね。私が車好きでなかったからこそ、ここまで売ることができたとも考えています。客観的な視点で販売戦略を考えられますから」と語っています。

現在、複数のモールサイトに出品中のピカキュウですが、モールごとに商品の見せ方を変えたり、お得感を演出したり。なかでも強いインパクトを与えているのは、全自動車メーカーの主要車種に自社製品を装着して撮影した純正品との比較画像です。サイトの中でふんだんに掲載されています。

「このビジュアルで訴える表現は、洋服のショップと同じです。ワンピースだけがずらりと並んでいるのを見ても楽しいということを知っている女性ならではの感覚ですね」。

現在、経済産業省の「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」の補助金を活用して、業界初となる純国産製品を開発中だとか。今秋には発売される予

定です。「ユーザーさんも待ちに待った完全なメイドインジャパンです。今後は、日本製に高い信頼を寄せる中国などの海外へ販売網を広げるべく準備を進めているところです」。

3社ともに、異業界に飛び込むことへの妙な緊張感もなく、そこにビジネスチャンスがあったからと軽やかに事業を転換されていたのが印象的でした。それは前職で人脈や知識、ノウハウをしっかりと培い、土台に蓄えていればこそだったでしょう。今、足もとを固めることがまた、新たな道を拓くことにつながるのかもしれない。

大学卒業後に経験した2つの不運が 経営者としての今に活かされて

大学卒業後に取得した資格を活かして測量士に。しかし事業所が閉鎖され、転職した呉服店も倒産するという2つの不運に見舞われたが、田宮社長は「企業の終わりというものを目の前で見られたことが、経営者としての今に活かされています」と語る。社員を抱えていることの責任を実感する日々だ。



株式会社ピカキュウ



◀大学で舞台芸術を学んだという田宮社長が自らパッケージのデザインを手がけた「フォグランプキット」と、ウインカーランプ、バックランプ。

代表者名／代表取締役 田宮ますみ
本社／堺市北区長曾根町 130-42 S-cube205
TEL / 072-260-4745
設立 / 2010年
資本金 / 300万円
従業員数 / 3名
事業内容 / 自動車用LEDライトの開発・販売
<http://www.pika-q.com/>

「さかい利晶の杜」のオープンを
盛り上げる!

～堺伝統産業会館の特別イベント～

「第二回 伝統産業と観光展」を開催

平成27年3月20日、堺の新名所として観光集客が期待される「さかい利晶の杜」がオープンしました。それに先立って、堺伝統産業会館では1月23日に「伝統と匠のふるさと堺をたずねて 第二回 伝統産業と観光展」を開催。オープン直前の「さかい利晶の杜」を盛り上げるとともに、堺の伝統産業の魅力を発信しました。

「堺観光ツアーアワード」授与式

2014年1年間に堺市へのツアーで送客人数、件数が多かった旅行会社を表彰する「2014堺観光ツアーアワード」(公益社団法人堺観光コンベンション協会主催)の授与式が行われました。これは、旅行会社の堺ツアーのさらなる伸長を図り、年間観光誘客数1千万人の早期実現を目的に実施されたもので、堺ツアーの実績上位社に賞状と記念品、副賞として堺市内の事業者から協賛品が贈られました。



堺市への観光ツアーに貢献した旅行会社を表彰する「2014堺観光ツアーアワード」授与式。

「さかい利晶の杜」の直前情報を紹介

「さかい利晶の杜」の館内の展示イメージをグラフィックで示すとともに、茶室のお点前体験などについても紹介し、旅行会社に団体観覧の予約を受け付けました。同館の運営サブマネージャーである土屋雅彦さんは「千利休さんをはじめ中世の堺の繁栄は教科書でも取り上げられ、多くの人に知られています。しかし、その堺の観光の魅力はまだまだ認識されていないのが現状です。『さかい利晶の杜』は国内外の旅行者の皆さんに面白いと思っていただける展示や体験を通して、堺観光の目玉となる拠点として堺の賑わいづくりに貢献していきます」と、抱負を語られました。



「さかい利晶の杜」の運営サブマネージャーの土屋雅彦さん



「さかい利晶の杜」の直前情報を模型やグラフィックで紹介。



包丁研ぎを実演される研ぎ歴60年の小田幸徳さん。

伝統産業の実演

伝統工芸士による包丁研ぎ、堺線香工業協同組合役員によるお香づくり、大阪府生菓子協同組合役員による和菓子づくりなど、堺の伝統産業を実演つきで紹介しました。「さかい利晶の杜」とともに、堺観光のもう一つの魅力となる伝統産業の素晴らしさを、旅行会社など観光関連業の皆さんを中心にアピールしました。



和菓子の実演をされる堺市ものづくりマイスターで御菓子処おかよし店主・岡田尚彦さん(右)と美乃や店主・高田和夫さん(左)



◀ 堺線香工業協同組合役員によるお香づくり実演と体験コーナー。

参加者の出口朝美さん(写真:左から2人目)は「友人を堺に案内するときには、いつも堺伝統産業会館を拠点にしています。今日はこんなイベントがあってラッキーでした」。出口さんの友人で八尾市から来られた板倉垂矢子さん(写真:左から3人目)は「線香の発祥が堺で、伝統産業であることは初めて知りました」。

👑 ものを作る、明日を創る。

モノダン × モノジョ

堺市内で活躍する若手社員『モノダン(ものづくり男子)×モノジョ(ものづくり女子)』を毎号ご紹介します。

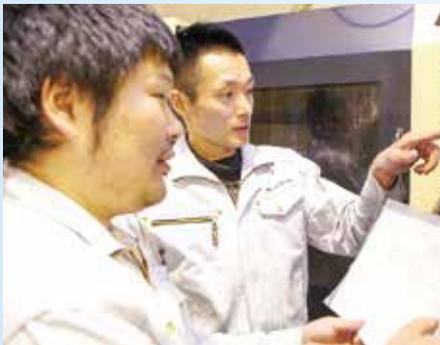
1000分の1ミリの精密な ものづくりに誇りを持って。

超硬切削工具の製造に特化し、大手企業が対応しづらい少量多品種生産で強みを発揮する(株)トップツール。なかでも得意先企業に高く評価されているのは、ろう付けです。膨張率の異なる二つの素材を接合する技術で、同社が得意とする銀ろう付けだけの委託を受けることも少なくないのだとか。ろう付けを含め、旋盤や刃付けなど全ての工程を社内ですべて完結させられることも、同社への信頼につながっています。

八角浩史さんは、大学卒業後、同じ超硬合金を扱う金型メーカーに4年勤めたのち、2003年に入社しました。現在は円筒研削盤やNC研磨機を担当しています。

「仕事が趣味という父の言葉を真に受けて、ものづくりがとても楽しいものに思えたんです。本当の趣味がゴルフだったなんてね(笑)」と語る浩史さん。ものづくりの、高い品質と納期を守ることの責任の重さを実感する一方で、製造現場で最重要なマザーマシンの切削工具を製造していることに誇りを感じるといいます。

次代の経営者として堺市産業振興センターの「ものづくり経営大学」を受講。「他社で働いた時の経験から、上がただ旗を振っても下はついてこないことを知っています。現場の社員の自主性を育てる経営を行いたい」と抱負を語っています。



株式会社トップツール

1939年の創業。超硬切削工具の中でも、エンドミルやリーマ、サイドカッターといった回転工具に特化した製造を行っている。特に1000分の1mmレベルの加工が求められる自動車のエンジン部品を手がけ、得意先の大手超硬工具メーカーなどから高い信頼を得ている。

本社/堺市堺区遠里小野町 3-1-13 TEL.072-233-2646



👤 八角浩史さん

創業者である祖父からも将来の三代目として期待され、物心がついた頃にはものづくりの道へ進むものだと思っていたという浩史さん。高校や大学の夏休みにも工場アルバイトをしていたとか。「若い世代がものづくりに関心を持ってもらえるよう、小中学生の工場見学などがもっとあればいいと思います」と語る。

～ギフトには「伝統と匠のふるさと 堺」～

堺伝統産業会館では、堺の名品を集めたギフトカタログをリニューアルしました。堺の「匠の技」が詰まった210品目を厳選して掲載していますので、ご自宅用としてはもちろん、大切な方への贈り物に是非ご利用ください。

なお、掲載商品の一部は館内にて展示・販売しています。

○お申込み方法

FAX・郵送注文書またはインターネット (<http://www.emallsakai.com/>) でお申し込みください。

○配架先

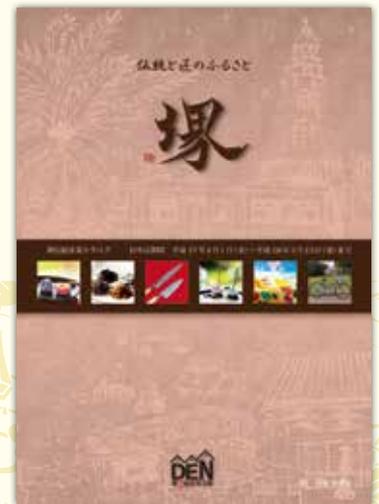
堺市役所市政情報センター、各区役所市政情報コーナー、堺市立図書館、観光案内所、堺市産業振興センター、堺伝統産業会館、堺商工会議所 等

※ カタログは、堺伝統産業会館のホームページでもご覧いただけます。

○お問合せ

堺伝統産業会館 〒590-0941 堺市堺区材木町西1-1-30

TEL 072-227-1001 FAX 072-227-5006 <http://www.sakaidensan.jp/>



堺刃物まつりを開催しました

平成27年2月7日(土)・8日(日)に第28回堺刃物まつり(主催:堺刃物まつり実行委員会)が当センターで開催されました。会場では堺刃物の展示・即売をはじめ、「古式鍛錬(火づくり)の実演」、「刃物のクリニック(研ぎ直し)」、「包丁の柄付け・銘切りの実演」などを実施しました。堺の伝統的な特産品である「堺打刃物」、「堺刃物」の技術や魅力がたくさん詰まった2日間はこのべ4万1千人の来場者で賑わい、プロの料理人に絶大な信頼を誇る堺製刃物に触れることのできる貴重な機会として定着していることを実感しました。

○後援・協賛団体名

後援 近畿経済産業局、大阪府、堺市、堺商工会議所、

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会、

公益社団法人堺観光コンベンション協会、公益財団法人堺市文化振興財団

協賛 南海電気鉄道株式会社、阪堺電気軌道株式会社、泉北高速鉄道株式会社



多くの人で賑わう会場の様子



古式鍛錬(火づくり)の実演

「第19回 機械要素技術展」に堺の優れた技術を持つ9社が出展!

堺市産業振興センターでは、新たな販路開拓を積極的に行う堺市内の中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる日本最大級の機械要素・加工技術を集めた専門技術展「機械要素技術展」へ共同出展を行っています。



平成27年6月に開催される「第19回 機械要素技術展」には、優れた技術を有する企業9社が出展します。会場にお越しの際は、ぜひ堺ブースにお立ち寄りください。

当センターにて、第19回機械要素技術展の招待券を配布いたしますので、ご希望の方はお問合せください。

第19回 機械要素技術展

開催概要

■ 会期

平成27年6月24日(水)～6月26日(金)
各日10時～18時(26日のみ17時終了)

■ 会場

東京ビッグサイト
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1

■ 来場者数

80,000人程度 (平成26年実績 80,606人)

■ 主催

リード エグジビション ジャパン株式会社
オフィシャルサイト: <http://www.mtech-tokyo.jp/>

問合先 堺市産業振興センター 経営支援課

TEL 072-255-6700 FAX 072-255-1185

平成27年度 堺市の中小企業者向け支援事業のご紹介

○ものづくり新事業チャレンジ支援補助金

新たなものづくりに必要な費用の一部を補助します。

■補助対象者 市内で引き続き1年以上事業を行っている中小企業

■補助内容

【特定技術開発テーマ枠】(採択件数：1件/年)

堺市が指定したテーマに沿い、公設試験研究機関、大学、大企業等の外部技術を活用して行う研究開発が対象
期間…2年 補助率…補助対象経費の2/3以内
補助上限額…2,000万円

【一般枠】

期間…1年 補助率…補助対象経費の2/3以内
補助上限額…500万円

■募集期間 平成27年5月1日～29日(予定)

■問合せ先 堺市ものづくり支援課

TEL:072-228-7534 FAX:072-228-8816

○ものづくり投資促進条例

市内での工場等の新増築、建替等のある一定条件を満たす場合に市税を最長5年間軽減します。

■対象業種 製造業(植物工場を含む)、電気・ガス・熱供給・水道業(新エネルギー関連)、情報通信業、運輸業、学術研究・専門・サービス業

■対象地域 工業専用地域、工業地域、準工業地域

■優遇税目 固定資産税(家屋・償却資産)・都市計画税(家屋)・事業所税(資産割)

■優遇措置

	要件	軽減割合
(1)	投下固定資産額(土地を除く)1億円以上(大企業は10億円以上)	1/2
(2)	(1)の要件を満たし、土地取得1,000㎡以上(市内本社の場合300㎡以上)を伴い、建物を新増設または取得 ※市外からの新規立地は、市内雇用者1/5以上	2/3
(3)	(1)の要件を満たし、市外から本社を移転し、土地取得300㎡以上を伴い、建物を新増設または取得 ※市内雇用者1/5以上	3/4

■問合せ先 堺市産業政策課

TEL:072-228-7629 FAX:072-228-8816

○中小企業操業環境改善支援補助金

工場の操業環境を改善するための防音・防振工事または移転に係る一定の条件を満たす場合に、費用の一部を補助します。

■対象者 製造業を営む中小企業

■補助金額 補助対象経費(50万円以上)の1/2以内(補助上限額500万円)

■補助要件

防音・防振工事	準工業地域、工業地域に立地する工場で、 ○騒音・振動に係る苦情があること ○苦情を和らげるため、自ら対策を行っていること(行う計画があること) ○周辺環境要件に該当すること
移 転	非工業系用途地域から準工業地域、工業地域、工業専用地域への工場の移転であること

■問合せ先 堺市産業政策課

TEL:072-228-7629 FAX:072-228-8816

○省エネ設備等導入支援事業補助金

省エネ設備(高効率な空調、LED照明、高効率ボイラー、コージェネレーション、EMS等)を2種類以上導入する際、費用の一部を補助します。

■補助対象者 市内事業者(風俗営業等除く)

■補助対象事業

対象事業所における省エネ設備の導入前後で、対象事業所全体の年間のエネルギー起源温室効果ガス排出量を、5%以上または10t-CO₂以上削減する事業が対象。

■補助内容

補助対象経費がそれぞれ50万円を超える事業であること。(EMSを除く)

補助率…補助対象経費の1/3以内(EMSを含む場合は1/2以内)
補助上限額…300万円

申請前に着手すると対象外となります。また、平成28年3月10日までに事業を完了する必要があります。

■申請期間 平成27年4月6日～平成27年12月18日(ただし、予算額に達し次第、終了)

■問合せ先 堺市環境エネルギー課

TEL:072-228-7548 FAX:072-228-7063

菅原神社の福娘が 商売繁盛祈願

平成27年1月6日、南大阪随一の「えべっさん」として知られる堺市の菅原神社(堺市堺区戎之町東2丁1-38)の福娘が、当センターを訪れ、今年の商売繁盛を祈願しました。



イベントホール受付開始日変更のご案内

4月1日よりイベントホールの利用受付開始日を次のとおり変更します。

- 展示会形式(1047㎡)でご利用の場合
⇒ 使用日の1年前の日の属する月の初日。
- ホール形式(846席)でご利用の場合
⇒ 使用日の1ヶ月前の日の属する月の初日。

堺市産業振興センター 貸会場お問い合わせ先

TEL:072-255-0111

センターホームページ(<http://www.sakai-ipc.jp/>)



イベントホール(ホール形式)



イベントホール(展示会形式)

中小企業を
全力応援

公益財団法人

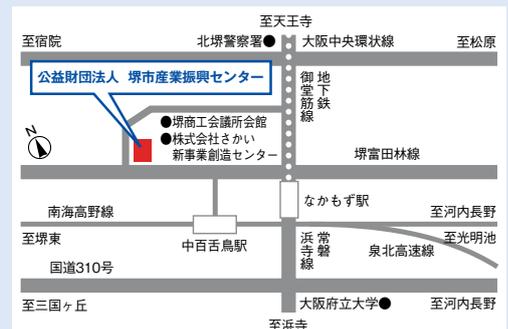
堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5

TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200

<http://www.sakai-ipc.jp/>



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



さ
か
い
mono
モノ
語
り

ピアス感覚の、足もとアクセサリ

ブローチにも見える「PIELY (ピエリー)」は、世界で初めてのストッキングに装着できるアクセサリです。伝線させることなくピタッと固定する秘密は、わずか1cmほどの特殊な機構にありました。生地を表と裏から挟む留め具。そのヒントは、小さい頃にビール瓶の王冠栓をバッジにして遊んだことにあったと山口公一社長は語ります。しかし、そこからストッキングを破かずに簡単に取り付ける機構を完成させるのに約1年。留めやすさ、安定感、さらには外さずに向きを変えられる仕掛けや爪の長い女性を取り外しやすい工夫、約10gに抑える軽量化など、徹底したものづくりのこだわりで、ついに走っても外れることなく、つけていることを忘れるようなフィット感を実現しました。アクセサリも接着剤でなく、ビスでしっかり留め

られています。

もちろんデザイン性も重視。可愛らしいリボンや花をデザインしたものから、蜘蛛がモチーフのクールなタイプまでの豊富なラインナップで、女性の心をしっかりキャッチし、足もとだけでなく、着物の帯揚げや手袋、帽子、スカーフなどさまざまなアイデアで楽しむファンが増えています。



「PIELY」のラインナップは、高級感あふれるハイクラスと、毎日のおしゃれに気軽につけられるカジュアルクラスの2ライン。美しい輝きを放っているのは全て、スワロフスキークリスタルです。オプションのチェーンを使えば、ドレスアップした足もとがさらに華やかに。着脱も簡単。近々、女性に大人気のハローキティなどキャラクターものも発売予定です。



山口正さんと山口公一社長

株式会社 PIELY

工作機械や試作パーツの設計や製造を行う、創業60年の共和機械製作所が母体。「いいものは必ず売れる」と信じていました」とPIELYについて山口社長が語るのも、長年ものづくりに携わってきた技術者としての自信でしょう。根っからのものづくり好きから、趣味の音楽活動の中でも、楽器を傷つけずに楽譜を固定する仕組みを考えたり、特別

な楽譜台を作ってみたり。その遊び心がPIELYにも生きているようです。

- 本社/堺市堺区少林寺町東2-1-16 ☎072-238-1414
- http://www.piely.jp

PIELYオンラインストア
http://store.piely.jp